

第 3 次 地 域 管 理 經 営 計 画 書 (案)

第 3 次 国 有 林 野 施 業 実 施 計 画 書 (案)

(揖 保 川 森 林 計 画 区)

(第 一 次 変 更 計 画)

計 画 期 間 { 自 平 成 2 1 年 4 月 1 日
至 平 成 2 6 年 3 月 3 1 日 }

(変 更 年 月 平 成 2 1 年 1 2 月)

近畿中国森林管理局

目 次

〔地域管理経営計画〕

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項	1
(4) 主要事業の実施に関する事項	1

〔国有林野施業実施計画〕

2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	3
(1) 伐採造林計画簿	3
(6) 伐採総量	4
(7) 更新総量	5
3 林道の整備に関する事項	5

第3次地域管理経営計画（揖保川森林計画区）の変更について

【変更理由】

国有林野管理経営規程第6条第8項に基づき地域管理経営計画の一部を次のように変更する。
 なお、本変更計画は、平成22年1月1日から効力を有する。

【変更する内容】

1 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

(4) 主要事業の実施に関する事項

イ 主要事業の総量

本計画期間（平成21年度～平成25年度）において、機能類型区分に応じた施業管理を行うために必要な伐採、更新、保育、林道の事業総量は以下のとおりである。

(ア) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	タイプ別	主 伐	間 伐	計
水 土 保 全 林	国土保全タイプ	-	(66) 6,388	6,388
	水源かん養タイプ	<u>7,876</u>	<u>(3,263)</u> <u>332,856</u>	<u>340,732</u>
森林と人との共生林	自然維持タイプ	-	(4) 255	255
	森林空間利用タイプ	-	(159) 14,760	14,760
資源の循環利用林		13,840	(39) 3,625	17,465
計		<u>21,716</u>	<u>(3,531)</u> <u>357,884</u>	<10,000> <u>379,600</u>

注：1 ()は間伐面積。

2 < >は搬出支障木、被害木等の伐採箇所があらかじめ特定できない臨時的な伐採量で、外書。

(イ) 更新総量

(単位：ha)

区 分	タイプ別	人工造林	天然更新	計
水 土 保 全 林	国 土 保 全 タ イ プ	—	—	—
	水 源 かん 養 タ イ プ	<u>80</u>	—	<u>80</u>
森 林 と 人 と の 共 生 林	自 然 維 持 タ イ プ	—	—	—
	森 林 空 間 利 用 タ イ プ	0	—	0
資 源 の 循 環 利 用 林		41	—	41
計		<u>121</u>		<u>121</u>

(エ) 林道開設及び改良総量

(単位：m)

区 分	タ イ プ 別	開 設		改 良	
		路 線 数	延 長	箇 所 数	延 長
水 土 保 全 林	国 土 保 全 タ イ プ	—	—	<u>1</u>	<u>12</u>
	水 源 かん 養 タ イ プ	5	4,600	<u>67</u>	<u>2,387</u>
森 林 と 人 と の 共 生 林	自 然 維 持 タ イ プ	—	—	<u>3</u>	<u>510</u>
	森 林 空 間 利 用 タ イ プ	—	—	—	—
資 源 の 循 環 利 用 林		—	—	—	—
<u>その他(併用林道)</u>		—	—	<u>3</u>	<u>80</u>
計		5	4,600	<u>74</u>	<u>2,989</u>

第3次国有林野施業実施計画（揖保川森林計画区）の変更について

【変更理由】

国有林野管理経営規程第14条第2項に基づき国有林野施業実施計画の一部を次のように変更する。

なお、本変更計画は、平成22年1月1日から効力を有する。

【変更する内容】

2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

地域管理経営計画の1の(4)のイの(ア)に定める伐採総量についての具体的な箇所ごとの伐採方法及び伐採量、並びに、同計画の1の(4)のイの(イ)に定める更新総量についての具体的な箇所ごとの更新方法及び更新量は、別添2. 伐採造林計画簿に示すとおりである。

(6) 伐採総量

地域管理経営計画の1の(4)のイの(ア)伐採総量の内訳は、次のとおりである。
また、本表は伐採造林計画簿で定める箇所ごとの伐採量を取りまとめたものである。

(単位 材積：m³、面積：ha)

区 分		林 地				林地 以外	合 計		
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量			計	
水 土 保 全 林	国土保全タイプ		(66.62) 6,388	6,388	9,500	371,635	—	371,635	
	水源 かん 養 タイプ	天 然 林	-	-					-
		複 層 林	-	10,188					10,188
		長 伐 期	-	213,773					213,773
		分散伐区	7,876	108,082					115,958
		そ の 他	-	813					813
		小 計	7,876	(3,262.86) 332,856					340,732
	計	7,876	(3,329.48) 339,244	347,120					
森 林 と 人 共 生 の 林	自然維持タイプ	-	(4.07) 255	255	500	17,965	—	17,965	
	森林空間利用 タイプ	-	(158.76) 14,760	14,760					
	計	-	(162.83) 15,015	15,015					
資 源 の 循 環 利 用 林	スギ・ヒノキ 人工林中径材	13,840	1,115	14,955	500	17,965	—	17,965	
	ヒノキ人工林 優良柱材	-	1,853	1,853					
	スギ・ヒノキ人工林 優良大径材	-	657	657					
	広葉樹人工林	-	-	-					
	アカマツ 中大径材	-	-	-					
	その他	-	-	-					
	計	13,840	(39.27) 3,625	17,465					
合 計	21,716	(3,531.58) 357,884	379,600	10,000	389,600	—	389,600		
年 平 均	4,068	73,327	77,395	2,000	79,395	—	79,395		

- (注) 1 () は間伐面積である。年平均は、変更伐採量を残期間で除したものを加えて算出。
2 臨時伐採量については、表中以外の施業群、生産群等の数量も含む。

(7) 更新総量

地域管理経営計画の1の(4)のイの(イ)更新総量の内訳は、次のとおりである。

また、本表は伐採造林計画簿で定める更新箇所ごとの更新量を取りまとめたものである。

(単位：ha)

区 分		人工造林			天然更新			合 計
		単層林造成	複層林造成	計	天然下種第2類	ぼう芽	計	
水土保全林	国土保全タイプ [°]	—	—	—	—	—	—	—
	水源かん養タイプ [°]	76.66	3.61	80.27	—	—	—	80.27
	計	76.66	3.61	80.27	—	—	—	80.27
森林の と共 人生 と林	自然維持タイプ [°]	—	—	—	—	—	—	—
	森林空間利用タイプ [°]	0.14	—	0.14	—	—	—	0.14
	計	—	—	—	—	—	—	—
資源の循環利用林		40.45	—	40.45	—	—	—	40.45
合 計		117.25	3.61	120.86	—	—	—	120.86

3 林道の整備に関する事項

地域管理経営計画の1の(4)のイの(エ)林道開設及び改良総量の路線別の内訳は次のとおりである。

(単位：m)

基 幹 ・ その他	開設 ・ 改良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延 長	機 能 類 型 タ イ プ 別	備 考
基 幹	開設	阿舎利 (広路山)林道	マンガ谷 (80)	1,800	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		赤西林道	赤西 (115)	800	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
その他		大外地林道	三室 (16)	400	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
阿舎利林道 瀬戸谷支線		阿舎利 (72)	800	水土保全林 (水源かん養タイプ)		
中音水林道		音水 (111)	800	水土保全林 (水源かん養タイプ)		
計		5路線		4,600		

基幹 ・ その他	開設 ・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長	機能類型 タイプ別	備考
基幹	改良	赤西林道	赤西 (116・118・120・ <u>125・126</u>)	<u>520</u>	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		カンカケ 三室林道	民有地 <u>赤西 (129)</u>	<u>18</u>	水土保全林 (水源かん養タイプ)	併用協定 締結箇所
		赤西 (音水) 林道	音水 (104・106・107)	<u>540</u>	森林と人との共生林 (自然維持タイプ)	
		阿舎利 (広路山)林道	民有地 (マカ ^ハ 谷79・80)	<u>420</u>	水土保全林 (水源かん養タイプ)	併用協定 締結箇所
		坂ノ谷林道	坂ノ谷 (92,95)	20	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		縦木沼谷林道	民有地 阿舎利(64)	40	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
その他		梯林道	民有地 (河原山)	14	水土保全林 (水源かん養タイプ)	併用協定 締結箇所
		中音水林道	音水 (109・111)	<u>110</u>	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		大身谷林道	民有地 <u>大身谷 (47)</u>	<u>110</u>	水土保全林 (水源かん養タイプ)	併用協定 締結箇所
		銅山林道	民有地 <u>阿舎利(51・53)</u>	<u>78</u>	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		赤西林道 砥石谷支線	赤西 (123)	<u>15</u>	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		蓮花岩山林道	阿舎利 (67～70)	<u>700</u>	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		縦木沼谷林道 志倉支線	阿舎利 (55)	<u>15</u>	水土保全林 (水源かん養タイプ)	

基幹 その他	開設 改良	路線名	箇所 (林班)	延長	機能類型 タイプ別	備考
その他	改良	岩上谷林道	河原山(27)	30	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		縦木林道 縦木支線	阿舎利 (61~63)	60	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		縦木林道 志倉支線	民有地 阿舎利(54・55)	50	水土保全林 (水源かん養タイプ)	併用協定 締結箇所
		マンガ谷林道	マンガ谷 (82)	20	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		駒前林道	民有地 駒前(99)	30	水土保全林 (水源かん養タイプ)	併用協定 締結箇所
		音水林道 栃谷支線	音水 (101)	10	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		音水林道 榎谷支線	音水 (107・108)	25	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		赤西林道 西の谷支線	赤西 (122)	12	水土保全林 (国土保全タイプ)	
		赤西林道 具舎利谷支線	赤西 (124)	40	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		カンカケ林道 赤西越支線	赤西 (129)	12	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
		深山林道	深山 (129)	70	水土保全林 (水源かん養タイプ)	
大外地林道	三室 (16)	20	水土保全林 (水源かん養タイプ)			
計		26路線 (74箇所)	2,979			

(注) 基幹は森林基幹道を指す